

2023年10月6日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 東海旅客鉄道株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、東海旅客鉄道株式会社が発行するグリーンボンド<sup>(注)</sup>(20年債・200億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

東海旅客鉄道株式会社(以下 JR 東海)は、「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という経営理念のもと、利益、キャッシュ・フローといった「経済的価値」を創造しながら、同時に持続的かつ豊かな社会を実現するという「社会的価値」を創造する ESG 経営を実践し、健全経営と安定配当、さらには企業としての持続的な成長を実現してきました。JR 東海はグリーンボンドの発行を通じ、地球環境保全に向けた取り組みを一層推進していくことを表明しています。

JR 東海はグリーンボンドの発行にあたり、ICMA グリーンボンド原則 2021 及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に即して策定されたフレームワークに基づき、4つの要素(調達資金の用途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポートイング)を記載したグリーンボンド・フレームワーク(以下 本フレームワーク)を策定しています。また、本フレームワークは、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、グリーンボンド原則 2021 等との適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	東海旅客鉄道株式会社第 88 回無担保普通社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発 行 年 限	20 年
発 行 額	200 億円
利 率	1.787%
発 行 日	2023 年 10 月 17 日
償 還 日	2043 年 10 月 16 日
資 金 使 途	N700S 車両への更新にかかる設備資金及び既に支出した N700S 車両への更新にかかる設備資金のリファイナンスに充当
取 得 格 付	AA(株式会社格付投資情報センター) A2(Moody's)
主 幹 事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社 大和証券株式会社 野村証券株式会社

(注 1) 国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上